

広域紋別病院経営強化プラン 実施状況点検・評価報告書

令和6年11月

令和5年度「広域紋別病院経営強化プラン」実施状況点検評価報告書

「広域紋別病院経営強化プラン」について、令和5年度の実施状況について点検評価を実施したので、その結果を次のとおり報告する。

団体名	広域紋別病院企業団
強化プランの名称	広域紋別病院経営強化プラン
策定月	令和5年3月
計画期間	令和5年度～令和9年度
病院名	広域紋別病院
所在地	北海道紋別市落石町1丁目3番37号
病院事業管理者	企業長 宮川 良一
病院管理者	院長 曾ヶ端 克哉
診療科目	内科（総合診療科、循環器内科）、消化器内科、呼吸器内科、外科、産婦人科、小児科、眼科、整形外科、精神科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科、放射線科、リハビリテーション科、脳神経内科、麻酔科
病床数	150床（一般148床、感染2床）
各種指定	第二種感染症指定医療機関、原子爆弾被害者一般疾病医療取扱医療機関、救急告示病院、災害拠点病院、へき地医療拠点病院、地域センター病院、臨床研修病院、エイズ治療拠点病院、特定疾患治療研究事業委託医療機関、小児慢性特定疾患治療研究事業委託医療機関等、DMAT指定医療機関、地域周産期母子医療センター、認知症疾患医療センター（連携型）等

1 令和5年度広域紋別病院企業団病院事業決算状況（税込み額）

病院事業決算は、病院事業収益4,125百万円、病院事業費用4,125百万円となり、差し引き額0円を計上した。

この決算状況を経営強化プランの収支計画と照合すると、病院事業収益については、収入見込額4,178百万円に対し収入が4,125百万円となり、病院事業費用については支出見込額4,180百万円に対し支出が4,125百万円したことにより、令和5年度決算における純利益は見込額▲2百万円に対し0円となった。

なお、経営強化プラン見込額と実績額の主なる乖離理由は、次のとおりである。

（病院事業収益）

(1) 医業収益のうち入院収益は1,220百万円と見込んだが、入院診療単価が見込額を下回ったため、22百万円の減収となった。

(2) 医業収益のうち外来収益は1,044百万円と見込んだが、外来診療単価が見込額を下回ったため、58百万円の減収となった。

(3) 医業外収益のうち補助金を907百万円と見込んだが、新型コロナウイルス感染症関連補助金の増加により、基金収入補助金は23百万円減少となった。

（病院事業費用）

(1) 医業費用のうち医師職員を含む職員給与費は2,348百万円と見込んだが、目標とした職員数を下回ったため、56百万円の減少となった。

(2) 医業費用のうち材料費は500百万円と見込んだが、高額注射薬薬品の使用、物価高による購入額の増加及び白内障手術再開に伴い診療材料費の購入により43百万円を上回った。

(3) 医業費用のうち経費は797百万円と見込んだが、委託料、賃借料、燃料費等について節減に努めた結果、63百万円の減少となった。

2 「広域紋別病院経営強化プラン」に掲げる経営指標等の数値目標及び実績

(1) 令和5年度経営指標、経常収支比率及び修正医業収支比率に係る数値目標

経営指標	単位	R5年度 目標	実績	比較
			年度	
①常勤医師数	人	15	14	▲1
②常勤看護師数	人	79	76	▲3
③経常収支比率	%	100.0	99.7	▲0.3
④医業収支比率	%	59.0	58.9	▲0.1
⑤修正医業収支比率	%	57.1	63.4	6.3
⑥職員給与費比率	%	97.3	98.5	1.2
⑦委託費比率	%	12.8	11.7	1.1
⑧該当材料費（給食材料費除く） ÷急性期・地ケア病棟及び外来の収益	%	21.7	24.1	▲2.4
⑩1日平均入院患者数	人	75.2	77.8	2.8
⑪病床稼働率（一般）	%	68.4	67.5	▲0.9
⑫病床稼働率（地域包括ケア）	%	65.0	80.2	15.2
⑭入院診療単価（一般）	円	48,338	44,184	▲4,154
⑮入院診療単価（地域包括ケア）	円	30,121	29,308	▲813
⑰室料差額収益	百万 円	5	0.8	▲4.2
⑱1日平均外来患者数	人	344.5	343.8	▲1
⑲外来診療単価	円	12,714	11,801	▲913
⑳査定率（救急医療管理加算を除く）	%	0.5	0.50	—
㉑計上差額（入外合計）	百万 円	▲43	▲94	51
㉒年度末不良未収金残高（患者負担金）	百万 円	18	6	▲12
㉓不良債務	百万 円	—	—	—
㉔不良債務比率	%	—	—	—
㉕セラピスト数	人	6	10	4

(2) 医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標

経営指標	単位	R5年度 目標	実績	比較
			年度	
①救急車搬送件数	件	501	516	15
②救急応需率	率	98	92.4	▲5.6
③紹介数	件	2,169	1,919	▲250
④紹介率	%	25	18.7	▲6.3
⑤逆紹介率	%	25	22.1	▲2.9
⑥初診患者数	人	10,329	13,684	3,355
⑦返書率(2週間以内)	%	70	66.9	▲3.1
⑧手術件数	件	480	421	▲59
⑨全身麻酔件数	件	219	274	55
⑩平均在院日数(一般病床)	日	15.0	15.3	0.3
⑪入院中の転倒・転落発生率	%	1.0	1.6	0.6
⑫インシデント発生数	件	—	399	399
⑬アクシデント発生数	件	—	2	2
⑭褥瘡発生率	%	1.0	1.7	0.7
⑮患者満足度調査満足率(外来)	%	80	76.2	▲3.8
⑯患者満足度調査満足率(入院)	%	95	92	▲3
⑰職員離職率	%	9	10.6	1.6
⑱職員年間平均超過勤務時間	時間	140	127.01	▲12.99
⑲職員有給休暇取得率	%	50	69.9	19.9
⑳職員夏期休暇取得率	%	95	94	▲1
㉑職員健康診断受診率	%	99	100	1

(3) 指標ごとの目標値達成及び未達成要因

1) 経営等指標

常勤医師数については、年度内に消化器内科医師1名増となったが、循環器内科医師1名減となった。

しかし、1日平均入院患者数は、目標値75.2人より2.8人増の77.8人、病床稼働率(地域包括ケア)については、目標値65%から15.2%増の80.2%となり、修正医療収支比率の目標値57.1%から6.3%増の63.4%へ収支改善をはかることが出来た。

病床稼働率については、循環器内科常勤医師不在による患者数が目標を下回ったため、目標値を達成できなかった。

入院診療単価については、比較的診療単価の高い循環器内科の入院患者が見込みを下回ったことにより目標値を達成できなかった。

循環器内科入院延べ患者数は、令和4年度3,887名に対して、令和5年度2,470名減の1,417名となったことが要因である。

外来診療単価については、新型コロナウイルス感染症の診療報酬減額等により目標値を達成できなかった。

2) 医療機能等指標

紹介数、紹介率、初診患者数については、前年度より増加しているが、目標値を達成できなかった。

手術件数については、眼科常勤医師退職に伴い白内障手術件数の減少により目標値を達成できなかったが、外科手術、整形外科手術は増加しており、全身麻酔件数は、令和4年度253件に対し、令和5年度は21件増の275件と増加となった。

3 点検評価の総括

「広域紋別病院経営強化プラン」については、作成から企業長をトップとする「広域紋別病院経営幹部会議」を設置し職員一丸となって、強化プランの作成とプラン達成に向けた取り組む体制を整備した。

病棟再編に向けた取り組みとして、医療職の確保を目標として活動していたが、セラピストの確保は順調に進んでいるが、常勤医師、常勤看護師の確保が目標値を下回っており、より一層の対応が必要となる。

今後とも、広域紋別病院が地域の中核病院として地域住民が求める良質な医療サービスを継続的に提供することが求められていることを再認識し、健全な経営体質への転換、更なる医療サービスの向上を目指し「広域紋別病院経営強化プラン」に掲げる各種政策への積極的な取り組みを実施していく。